

実践『ペルソナ』通信 (No. 132)

「通学用バッグ」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大生の「通学用バッグ」について、観察調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回の調査を通して、実践女子大学生はショルダーバッグ・メッセンジャーバッグ型を利用している人の割合が高いことが分かりました。また、トートバッグ型やリュックサック型なども利用されており、通学時の荷物量やその日の予定に応じてバッグを使い分けている学生も見受けられました。さらに、収納力や持ち運びやすさだけでなく、服装に合わせやすいシンプルなデザインを選ぶ傾向があることが分かりました。

調査結果のポイント

(1) ショルダーバッグ・メッセンジャーバッグ型を使用している割合が高い

調査ではショルダーバッグ・メッセンジャーバッグ型を使用している学生が最も多く見られた。荷物を取り出しやすく、通学だけでなくアルバイトや外出など様々な場面で使用しやすいことが理由の一つと考えられる。

(2) 収納力に応じてバッグを使い分けている

教科書やノートパソコンを持ち運ぶ日はトートバッグ型やリュックサック型、荷物が少ない日はショルダーバッグ型を利用するなど、用途に応じてバッグを使い分ける学生が見受けられた。

(3) 機能性を重視してバッグを選んでいる

バッグを選ぶ際には、収納力や軽さ、持ち運びやすさなど、デザイン性だけではなく機能性を重視していると考えられる。

(4) シンプルなデザインが多い

黒やベージュなど落ち着いた色合いのバッグが多く見られ、服装を選ばず、通学やアルバイトなど様々な場面で使いやすいデザインが好まれる傾向にあると考えられる。

調査概要

- ・調査対象：実践女子大生（全学年、全学部）
- ・調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- ・調査期間：2026年7月
- ・調査場所：実践女子大学渋谷キャンパス・調査協力者の居住内スペース

調査担当者

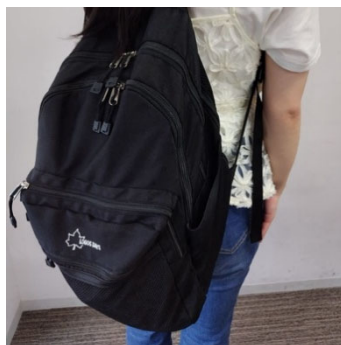
実践『ペルソナ』研究会 佐川奈穂・櫻井梨音・藏谷和花

写真

【トートバッグ型】



【リュックサック・バックパック型】



【ショルダーバッグ・メッセンジャーバッグ型】



【ビジネスバッグ型】



調査後記

今回の調査を通じて、女子大生は見た目だけでなく収納力や機能性を重視してバッグを選んでいることが分かりました。特にトートバッグ型やリュックサック型の利用が多く、通学スタイルや荷物量に合わせて複数のバッグを使い分ける学生も見受けられました。また、バッグの色やデザインはシンプルなものが多く、様々な服装や場面に対応できることを重視していると考えられます。

下図は、今回の調査を踏まえて生成 AI（ChatGPT。2026 年 9 月 13 日（日））で出力した、ペルソナのイメージ図です。



今回の調査において、多くの学生の方々に快く調査への回答や写真の提供をしていただいたことで、報告書を作り上げることができました。ご協力いただいた皆様には、この場をお借りして深く御礼申し上げます。今回の調査での経験を今後の調査分析にいかせるよう、メンバー一同精進いたします。